

兵庫県のり漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 4号)

神戸地先や神戸沖の一部においてキートセロスを中心として数種の小型珪藻がかなり多く発生しており、その海域の表層で特にリンの値が大きく低下していました。窒素は陸水等の影響が見られた地点や一部を除き概ね2~3 $\mu\text{g-at/L}$ 台でした。淡路東浦においてこれら珪藻はほとんど確認されませんが、窒素は2 $\mu\text{g-at/L}$ 台とやや低い値となっています。

(水温) 神戸地先は10.9~11.2°Cで平均11.0°C。神戸沖及び東浦地先は平均11.2°C。全域で平年より約2.0高い。

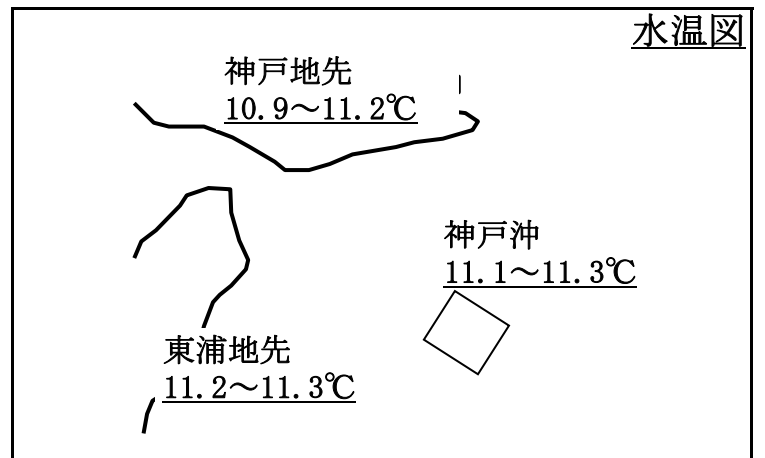
(塩分) 神戸地先：29.20~31.80psu。神戸沖：31.72~32.30psu。東浦地先：32.36~32.41psu。

(栄養塩、珪藻) キートセロスを中心としてスケルトネマやニッチア・タラシオシラといった小型珪藻が、神戸地先では駒ヶ林から福田川前にかけて、また神戸沖では東角において褐色がかかった赤潮として大量発生が確認された。神戸地先及び神戸沖の窒素は全般に2~3 $\mu\text{g-at/L}$ であったが、赤潮として確認された海域の表層ではリンが大きく減少していた。淡路東浦ではこれら珪藻はほとんど見られないが、窒素は減少傾向にある。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	12.5	11.0	9.1	10.6
	窒素	6.5	4.0	6.1	2.9
	リン	0.64	0.09	0.28	0.20
神戸沖	水温	12.3	11.2	9.0	10.7
	窒素	2.8	2.5	2.9	2.1
	リン	0.33	0.26	0.22	0.25
東浦地先	水温	12.8	11.2	9.1	10.7
	窒素	3.8	2.2	3.0	2.5
	リン	0.50	0.40	0.28	0.27

(1/22)

(2/21)



栄養塩 (窒素) 図

2020年 2月26日調査

上げ潮 (明石海峡：西流)

調査時間； 8:12~11:08

